

2026年度 JICA中部

教師海外研修



Photo:Fernando Xavier Cuellar Otero

受講者募集中
5/16(土)
応募書類必着

五感で学ぶ体験



Photo:野町和嘉



Photo:久野真一



Photo:奥田桐子



海外渡航期間※: 7/25~8/8 (本邦発着・予定)



ボリビア

※諸事情により日程が変更になる場合があります。



主催 : 独立行政法人国際協力機構 中部センター (JICA中部)

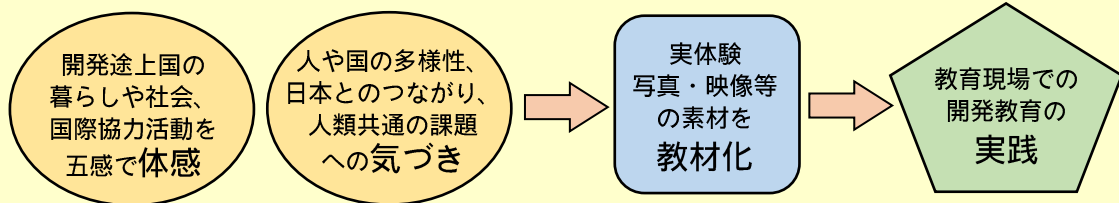
後援 : 外務省 (申請中)、文部科学省 (申請中)

愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、
名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会

研修の概要

(1) 教師海外研修の目的

開発教育・国際理解教育に取り組む教師が、実際に開発途上国を訪問することにより、その現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、帰国後は、訪問によって得た気づきや素材を教材にして学校現場での授業実践を行い、次代を担う児童・生徒の育成に役立てて頂くことを目的としています。また、研修終了後も、開発教育・国際理解教育の中核的指導者として活躍いただくことを期待しています。



(2) 研修の日程および内容 (諸事情により、変更になる場合があります。予めご了承ください。)

回	日時	内容(予定)
事前研修 ^{※1}	7月4日(土) 12:30~17:30 7月5日(日) 10:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 本研修の概要、派遣国・訪問先の説明 海外渡航手続き、健康・安全管理等の留意事項の説明 研修目標の共有、情報収集・交流の準備、役割分担
出発前説明会	7月24日(金) 13:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> JICA 安全講習、現地情報・準備事項の最終確認
ボリビア現地研修	7月25日(土)~8月8日(土) (本邦発着15日間/現地11日間)	<ul style="list-style-type: none"> 開発途上国の現場体験、教材の素材収集 気づきの共有、受講者同士の学び合い
事後研修①	9月5日(土) 13:00~17:30 9月6日(日) 10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 現地研修の気づきや素材の教材化 上記教材を使った学習者主体の授業案の作成
9月~1月:各自、学校の授業などで実践! 11月7日(土)、1月16日(土):教師海外研修報告の準備、実践のフォローアップ等		
事後研修② ^{※2}	2月20日(土) 10:00~17:30	<ul style="list-style-type: none"> 実践の内容、成果と課題の共有 フォーラムでの報告の準備
実践報告フォーラム ^{※2}	2月21日(日) 10:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修報告、各実践の報告(ポスターセッション) 有志チームによる開発教育体験ワークショップ 実践者つながり交流会

※1: 上記「事前研修」実施前に全国合同オンライン事前研修を予定しています。詳細は選考終了後にご案内します。

※2: 事後研修②と実践報告フォーラムは、開発教育指導者研修(実践編)受講者と共同で行います。

(3) 研修の場所(国内)

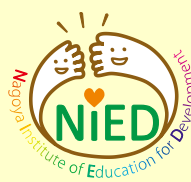
JICA 中部 なごや地球ひろば2階セミナールーム

<https://www.jica.go.jp/domestic/nagoya-hiroba/information/access/>

(4) 研修のファシリテーター

(特活) NIED・国際理解教育センター

<http://nied.love-hug.net/>



※ 過去の教師海外研修の内容は、下記JICA中部のウェブサイトを参照。

⇒ <https://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/>

[JICA中部 教師海外研修]で検索

JICA中部 教師海外研修

検索



教師海外研修の1年間



7月 事前研修・出発前説明会

チームメンバー同士知り合い、ボリビア訪問先で十分に学び、その結果を教材につなげるための準備を、参加型学習で行います。また海外渡航の準備を行います。



7~8月 ボリビア現地研修

サンタ・クルス周辺等で、①ボリビアに肯定的に出会う、②ボリビアと日本のつながりに気づく、③ボリビアの課題を知り共に越える、という観点から各所を訪問。



9月 事後研修 ①

現地で得た気づきや素材をもとに教材を作り、授業案を仲間と考え、研修成果を十分に活かせる授業実践へ。

<主な訪問先の予定> ※調整中

- 学校や教育関連施設
- 日本人移民居住地域
- 農業施設・農家訪問
- 日本とつながりがあるもの
- JICA 海外協力隊任地
- JICA 技術協力事業地
- 地域のマーケットや市場 (教材収集)
- ボリビアの歴史・文化施設
- JICA ボリビア事務所



9~1月 授業実践

世界の人々が共に生きるために、児童・生徒が、何を知り、どう行動するようになるのとよいか、海外での経験と国内での研修の成果をいかに発揮します。



2月 事後研修 ② + 実践報告フォーラム

「現地で何を学び、どう授業に生かしたか」を他の研修受講者や一般の方に伝え、次へのつながりを作ります。

募集要項

(1) 応募資格 次の要件をすべて満たす方に応募資格があります。

- ① 応募および研修受講時点で愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の国公立、私立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の教員（児童・生徒に開発教育・国際理解教育を継続的に実践できる立場にある教員）で、所属する学校の校長の推薦があること。
- ② JICA が実施している教師海外研修、JICA 海外協力隊、専門家、国際協力レポーター（ODA 民間モニター）等 JICA から海外に派遣された経験がないこと。

(2) 参加条件 次の条件をすべて満たす方に参加資格があります。

- ① 教師海外研修の趣旨を十分理解し、同研修の実施および JICA が実施する開発教育支援事業に協力できること。
- ② 2026 年度中に授業やクラブ活動で、教師海外研修の経験を活かした開発教育・国際理解教育を実践できること。
- ③ 国内で実施される研修・説明会および現地研修の全行程に参加可能であること。
- ④ 派遣国の事情（道路状況や衛生環境等）を勘案した上で、全研修行程に参加するに耐えうる健康状態であること。
- ⑤ 帰国後、所属長の承認を得たうえで、1) 現地研修に関する報告書を提出すること、2) 所属校における授業実践内容についての実践報告書を提出すること、3) 実践報告フォーラムで実践内容を発表すること、4) これら提出物を報告書冊子や JICA ウェブサイトなどで学校名、氏名とともに一般公開されることに同意すること。
- ⑥ 本研修に関わる連絡・情報共有のため、E メールでの連絡が可能な方。

(3) 募集人数 10名程度 ※応募書類および面接に基づき選考を行います。

(4) 応募方法・応募締切・選考結果通知

- ① 必要事項をすべて記入した所定の申込書と、別途設問①～④の回答を A 4 版 2 ページ以内にまとめた文書を同封のうえ、事務局（NIED・国際理解教育センター）に、郵送または持参で提出してください。
- ② 応募締切は、5月16日（土）必着です。E メールにて応募書類を受付した旨通知します。
- ③ 書類で第一次審査を行い、5月27日（水）までに書類選考結果を E メールにて通知します。書類選考を通過した人は面接日程の調整をさせていただき、下記 (5) の面接審査を行い、6月5日（金）までに最終選考結果を E メールにて通知いたします。上記選考結果の通知が届かない場合は事務局へお問合せください。

(5) 面接審査（対面またはオンライン）

- ① 書類審査を通過した方に対して、右表のとおり面接審査を実施します。面接の方法は対面またはオンラインを選べます。申込書に第 1、第 2 希望の日程、所定の時間帯の中で応じられる時間帯、

選択番号	審査会場	日程	時間帯
1	JICA 中部	5月30日（土）	10:00-17:00
2	JICA 中部	5月31日（日）	10:00-17:00

（どの時間帯でも差し支えなければ時間帯の記入は不要です）、面接希望方法を記入をしてください。

- ② ご希望を踏まえ、面接日時を JICA 中部が決定いたします（面接時間は 20 分程度を予定）。5月27日（水）に、事務局より E メールまたは電話にて通知しますので、申込書に記載のある E メールおよび電話での受信確認をしてください。

(6) その他注意事項

- ① 年休・研修（職専免）等、研修中の扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
- ② 本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- ③ JICA は出張命令依頼書等の発出は行いません。
- ④ 現地の治安状況等により、現地研修の期間を変更したり、中止となることがあります。予めご了承ください。
- ⑤ 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける方、決められた活動（研修・フォーラムへの参加、報告書提出など）に参加する意思がないと判断される方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失います。研修対象者として資格を失った場合、海外研修中にある場合は、速やかに日本に帰国させ、帰国に係る旅費、滞在費、キャンセル料など全額当該者本人が負担する場合があります。

- ⑥ 過年度の『開発教育指導者研修（実践編）』受講者および2026年度「実践編」応募者を優先し、選考します。「実践編」を併せて受講することで、学習者主体の授業実践力が高まり、教師海外研修の経験をより活かすことができます。「実践編」の内容は以下サイトでご確認ください。申込書当該欄に「希望する」をチェックすれば申し込みとなります。 ※「実践編」…<https://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/shidousha/>
- ⑦ 面接にかかる旅費および申込書の送料は自己負担となります。またご提出いただいた申込書（写真を含む）は返却しませんので、予めご了承ください。
- ⑧ 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取り消しになることがあります。

(7) 参加費用 参加者の個人負担とJICAの負担は下表のとおりです。

区分	個人負担経費	JICA 負担経費
国内での研修 や準備活動	<ul style="list-style-type: none"> ・面接にかかる交通費 ・飲食費 ・パスポート取得にかかる費用 ・予防接種料 ・その他個人的性格の費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該研修にかかる宿泊費（該当者のみ）※3 ・当該研修にかかる交通費 〔自宅最寄り駅・バス停から会場最寄り駅〕 までのJICA規定で算出した往復交通費 ・空港までの交通費 ・空港使用税 ・査証取得料
海外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での食費 ※1 ・現地での宿泊費 ※1、※2 ・施設等入場料 ・追加保険の加入費用 ・その他個人的性格の費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・往復航空券代 ※2 ・海外旅行保険費（JICA規定分） ・現地視察に必要な費用（車両備上、通訳） ・海外での空港使用税・出国税

※1：現地での食費と宿泊費（10日間程度分）は合わせて15万円程度を目安とお考えください。

※2：現地での宿泊施設および往復航空便については安全面等を考慮しJICAで手配決定することを予めご了承ください。

※3：JICA規定に基づき宿泊の可否を決定します。

(8) 報告書の提出（必須） 本研修では、次の報告書を提出していただきます。

- ① 海外研修報告書 提出日：2026年8月22日（土）
 ② 実践報告書 提出日：2027年2月11日（木・祝）

応募・問合せ先 申込書は必ず事務局（下記住所）へお送りください。

申込書はJICAウェブサイト <http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/> からダウンロード可。

〔教師海外研修 事務局〕

★特定非営利活動法人 N I E D ・国際理解教育センター JICA 研修係（担当：川合・田口）
 〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町二丁目3番地 YWCA ビル7階
 E-mail：nied@love-hug.net（問い合わせはEメールでお願いします）
 TEL：070-5333-5566 FAX：052-766-6440

※【個人情報の取扱いについて】応募時にいただいた個人情報は、本研修に係る手続き等のほか、JICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただきます。いただいた個人情報は、JICAの内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。

その他JICA開発教育・国際理解教育支援関連 問合せ先

独立行政法人国際協力機構 中部センター(JICA 中部) 市民参加協力課 開発教育支援事業担当
 TEL：052-533-0120（課直通） E-mail：cbictpp@jica.go.jp

教師海外研修の3つのウリ！

- 1 開発途上国の国際協力や学校、家庭などの現場を訪問し、現地の人・協力する日本人・子ども達などと交流や意見交換ができます！
- 2 チームで共有や収集した現地での気づきや情報を教材化し、授業に活かします！
チーム活動を通して、共に学び合う一生の仲間づくりができます。
※学び合いやチームビルディングを支援するファシリテーターが同行します。
- 3 アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）にもつながる参加型の開発教育・国際理解教育のプログラムづくりを学べます。
※同時開催の「JICA 中部開発教育指導者研修（実践編）」を受講するとさらに効果があります。

昨年度受講者の声



「この笑顔、一生守りたい！」ネパールで出会った子どもたちの笑顔はキラキラしていた。自分たちが関わったことでこんなにも笑顔になってくれたことが嬉しかった。子どもたちの笑顔が溢れる世界になったらいいな。[20代・小学校教員]



「夢を思う人強い！！」家族のいる祖国を離れ、日本のレストランや介護の施設で働くことを目標に学ぶ日本語学校の生徒達が、仕事をしながら各々が熱い思いを持って学ぶ姿に胸を打たれた。[30代・中学校教員]

本当に世界が広がりました。人との繋がりや教育の広がりを感じました。わたしの人生のターニングポイントになった気がします。経験させていただき本当にありがとうございました。

[20代・中学校教員]

生の声、ものは子ども達にとってもより深く学べる教材となりました。本当の仲間ができました。みんなと学べたことが本当に宝物です。ネパールが身近になりました。大切な存在になりました。[20代・小学校教員]

子どもたちに還元するための研修と思い参加しましたが、自分の心も成長させてもらった研修にもなりました。これからも細く長く学んできたこの開発教育・国際理解教育を続けていきます。

[30代・中学校教員]

現地での体験を通して、自分の当たり前を問い直す貴重な機会となり、物事を多面的に見る意識が一層高まった。多様な実践者との出会いが大きな刺激となり、今後も学び続けたいという意欲が一層強まった。[40代・小学校教員]

私的旅行では行けない場所に行き、学びを深めることができ自分の中でとても大きな経験になりました。集団行動を大切にしながらも、個人の時間も確保してもらえたのがよかったです。[20代・小学校教員]

今回の貴重な学びをすることができたことをとても幸せに感じています。この経験はこれからも子どもたちや職員に還元していきたいと思えます。そして、教師海外研修の魅力を伝え続けていきます。

[30代・小学校教員]

2026年度 教師海外研修 申込書

注:選択式の欄は、該当する選択肢の口を■に塗りつぶしてください。



ふりがな 氏名 (ローマ字)	()		性別	(西暦)生年月日	年齢
	※パスポートの記載とおり記入ください。			年 月 日	歳 (2026年4月1日現在)
自宅住所	〒 県				
電話番号 (固定)	-	-	電話番号 (携帯)	-	-
Eメール アドレス	@				※個人に届くものを記入してください。
渡航時の 緊急連絡先	名前		続柄	電話番号	- -
ふりがな 所属学校名等				担当 教科	担当 学年
学校等住所 (電話番号)	〒 県 (- -)			現在の 担任学級	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 第 学年
				職名	<input type="checkbox"/> 教諭 <input type="checkbox"/> 講師 <input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> その他()
面接審査 日程・時間帯	第一希望 (日程、時間帯記入)			第二希望 (日程、時間帯記入)	
希望する 面接方法	<input type="checkbox"/> 対面による面接 <input type="checkbox"/> オンラインによる面接* ※申込者の責による通信不具合等については、責任を負いかねます。				
研修の参加確認	全ての研修に参加いただくことが原則必須となっております。 (募集要項の研修日程をご参照ください) ※やむを得ない事情で 参加できない場合は、必ず参加できない日と理由をお書きください。 ()				
国内研修での 宿泊希望※	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない ※JICA規定に基づき宿泊の可否を決定します。				
JICA事業への 参加・利用状況	<input type="checkbox"/> 開発教育指導者研修(上級編・実践編) <input type="checkbox"/> 開発教育指導者研修(初級編) <input type="checkbox"/> JICA国際協力出前講座 <input type="checkbox"/> 地球ひろば訪問プログラム <input type="checkbox"/> 実践報告フォーラム(受講者ではなく、一般参加者(見る側)として)				
外国語 の会話能力	英語	<input type="checkbox"/> 会話が堪能 <input type="checkbox"/> 意思疎通が可能 <input type="checkbox"/> 簡単な日常会話 <input type="checkbox"/> できない	語	<input type="checkbox"/> 会話が堪能 <input type="checkbox"/> 意思疎通が可能 <input type="checkbox"/> 簡単な日常会話 <input type="checkbox"/> できない	パスポートの有無 <input type="checkbox"/> 有 → 有効期間 20 年 月まで <input type="checkbox"/> 無
既往症・ アレルギー	<input type="checkbox"/> ある → (具体的にご記入ください) <input type="checkbox"/> ない			海外渡航の経験 <input type="checkbox"/> ある → 主な経験を記入ください(開発途上国を優先記入) <input type="checkbox"/> ない	
JICA事業での 海外派遣経験	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			年 国名 年 国名	
研修の概要、 募集要項 記載事項等の 承諾・押印	わたしは、研修の概要、募集要項の記載事項、申込書の注意事項をすべて承諾し、 この研修への参加を申し込みます。 2026年 月 日 氏名 (印)				写 真 4×3cmまたは4.5×3.5cm 裏面に氏名を記入

キ
リ
ト
リ

